

1. Title of the Invention

Siding material

2. What is claimed is:

1. A siding material 1 which of the surface side of a midstream portion of lengthwise direction of a siding body 2 is attached a step portion 4 of thick direction, the siding material 1 comprising:

a downward face 5A of a bottom edge of the siding body 2 and a downward face 5B of the step portion 4 are formed to the concavo-convex shape having step portions 6A and 6B of crosswise direction.

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-55366

⑤ Int.Cl.

E 04 F 13/08
13/14

識別記号

102

庁内整理番号

7130-2E
7130-2E

④ 公開 昭和62年(1987)3月11日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑥ 発明の名称 外装材

⑦ 特 願 昭60-196462

⑧ 出 願 昭60(1985)9月4日

⑦ 発 明 者 落 葉 勝 三 大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号 久保田鉄工株式会社
内⑦ 発 明 者 藤 戸 正 美 大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号 久保田鉄工株式会社
内

⑦ 出 願 人 久保田鉄工株式会社 大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

⑦ 代 理 人 弁理士 安田 敏雄

明 細 書

1. 発明の名称

外装材

2. 特許請求の範囲

1. 外装材本体2の縦方向中途部の表面側に、厚み方向の段部4が設けられた外装材1において、外装材本体2下端縁の下向面5A及び前記段部4の下向面5Bが、横方向の段部6A、6Bを備えた凹凸状に形成されたことを特徴とする外装材。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、住宅等の建物外壁に取付けられる外装材に関する。

(従来の技術)

従来、押出し成形により製造された外装材として第5図に示される如く、外装材本体101の上端部及び下端部に下実部102及び上実部103が適宜設けられ、また表面側は順次肉厚となる傾斜状の傾斜面104とされ、中途部に厚み方向の段部105を備え、本体101下端や段部105に横方向直線状

の下向面106A、106Bを構成したものがあった。

(発明が解決しようとする問題点)

上記構造の外装材107によれば、建物外壁への取付けに際し、働き巾の公差及び施工中のずれにより、第6図に示される如く、他の外装材107の下端や段部105の下向面106A、106Bが互いに横方向に合致しない場合、外観を損なうおそれが大である。従って、目地合せに手間がかかり、施工性が悪い欠点がある。

そこで、本発明は上記問題点に鑑み、施工性の向上及びデザイン性の向上を図ると共に、水はけのよい外装材を提供することを目的とする。

(問題点を解決するための手段)

その技術的手段は、外装材本体2の縦方向中途部の表面側に、厚み方向の段部4が設けられた外装材1において、外装材本体2下端縁の下向面5A及び前記段部4の下向面5Bが、横方向の段部6A、6Bを備えた凹凸状に形成された点にある。

(作 用)

本発明の外装材1を建物の外壁として施工した

